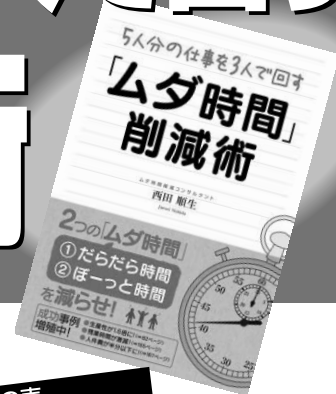


出版記念
セミナー

5人分の仕事を3人で回す 「ムダ時間」削減術



そ お
ムダ時間を一発で削ぎ落とす技術を指導します!!

「本来なら、3人で終る仕事なのになあー」

「なぜ5人もかけているんだろう」

あなたの会社でこのような光景を見かけませんか？

当然、このような仕事のすすめ方をしていたら、せっかく取って来た仕事が赤字になってしまいます。こうならないよう、**所定の時間内にムダなく仕事を終える仕組み作りが必要です。**

しかし、多くの会社でこの当り前のことができていません。

このセミナーでは、会社に潜むムダ時間の削減方法について指導いたします。直接作業は言うに及ばず間接業務についてまで、**多くの設問と実習を交えて体で学んでいただきます。**

**【セミナー対象者】 製造業、ソフトウェア業、サービス業、
建築業の現場実務をマネジメントしている人及びその候補者**

**売上が落ちているのに、忙しい!人手が足りない!
あなたの会社では、このような様相を呈していませんか?**

利益が出ていない会社の多くが、この病気にかかっています。こうなる原因は、会社に2つのムダ時間が潜んでいることを知らないからなのです。

2つのムダ時間とは「だらだら時間」と「ぼーっと時間」から構成されています。

残念なことに、利益が少ない会社は、この2つが見える化できていません。しかも、それぞれの対策が異なるという事実についても理解をしていません。

これでは、利益をみすみすどぶに捨てているのも同然です。

いつ時代も、どこの業種でも、生産性向上を常に追い求めねばなりません。

「だらだら時間」とは、基準となる時間（標準時間）に対して、実績時間がオーバーしてしまった時間のことを言います。

一方「ぼーっと時間」とは、いわゆる手待ち時間であったり、「時間が余ったから」と言う理由で行っている打ち合わせや過剰な環境整備に費やしたりしている時間のことを言います。

ムダ時間を削減するコツは、次の3つの指標を使うことです。

★能 率 (%) = (標準時間 ÷ 実績時間) × 100

★稼働率 (%) = (実際に仕事をしてきた時間 ÷ 就業時間) × 100

★真の稼働率 (%) = 能率 × 見かけの稼働率 × 100

受講者の声
〈個別企業への訪問セミナーにて〉

- ★正直言って、このセミナーには疑心暗鬼で参加しました。しかしムダ時間の管理は、製造業以外の全業種に適用できることを体験でき、今後の仕事の効率アップに大きく貢献できる自信がもてました。(名古屋市 ソフトウェア業 山田圭子)
- ★実習を通じて学ぶことができ、難しい話が一切なかった。このような面白いセミナーは初めてでした。(栃木県 金属部品製造 課長 村山謙一)
- ★能率、稼働率と言う用語は、感覚的には理解していましたが、今回は実習があったために、すっきりと腹に落とすことができました。(東京都 食料品製造 主任 中山弘俊)

講師 西田 順生

にしだ じゅんせい

【講師】西田 順生(にしだ じゅんせい)

収益改善コンサルティング会社 株式会社 西田経営技術士事務所 代表取締役・技術士(経営工学部門) ムダ時間削減コンサルタント

1977年神奈川大学工学部工業経営学科へ入学し、生産管理技術に魅了される。81年同学科卒業。(株)村田製作所グループ及び(株)ナオにて、生産管理、外注管理、購買業務の実務を経験。96年コンサルタントとして独立。優良企業での実務経験とコンサルティング現場で培ったプライシング&コストダウンシステムで脚光を浴び、首都圏、東海、北陸、東北、中国、近畿、九州地区の製造業に対して収益改善に向けたコンサルティング、講演活動を精力的に行っている。06年「収益改善プログラム(通称IPP)」を開発し、多く企業の収益改善に貢献。

〈講師実績〉

みずほ総合研究所(株)……………17回
日本経営合理化協会……………13回
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)……………18回
その他の大手……………15回

〈主著〉

『5人分の仕事を3人で回す「ムダ時間」削減術(中経出版)』、
『買いたたかれない会社の3つの戦略(中経出版)』、『緊急!収益改善会議(中経出版)』、『作る前にコストダウンする技術(PHP出版)』、『粗利を2倍にする価格決定論(PHP研究所)』、『生産革命 変種変量生産しが儲からない(泉文堂)』
その他多数



— 生産管理と出会って34年 —
収益改善コンサルティング会社
株式会社 西田経営技術士事務所 代表取締役・技術士

西田 順生

セミナーのねらい

- ① 実習を通じて、体で学ぶことができます。
- ② 一方通行の講義ではなく、考えてもらう設問方式で進めていきます。
- ③ 理論だけではなく、会社へ帰って即実践できるカリキュラムにしています。

セミナーの特徴

- ① 2つのムダ時間の存在を体験する。
- ② ムダ時間の見える化を体得する。
- ③ 標準時間の設定方法を体得してもらう。
- ④ ムダ時間の削ぎ落とし方（能率、稼働率、真の稼働率の上げ方）を学ぶ。

セミナーカリキュラム

1. 標準時間の必要性を知る

- (1) ムダ時間の見える化のため必要なもの【実習】
- (2) 標準時間の歴史を知る
- (3) 標準時間の種類を覚える
- (4) 標準時間の構成を学ぶ

2. 標準時間の設定方法を体験する【実習】

- (1) ストップウォッチ法の長短を体験する
- (2) 実績時間資料法の長短を体験する
- (3) 経験見積法の長短を体験する
- (4) 標準時間資料法の長短を体験する

3. 自分の会社への展開案を考える【実習】

今まで学んだこと念頭に、自分の会社への展開案を考える

4. 能率の見える化を体験する【実習】

- (1) ワークAの標準時間を設定する
- (2) ワークAの実績時間を記録する
- (3) ワークAの能率を計算する
- (4) ワークAの能率をグラフ化する

5. 稼働率の見える化を体験する【実習】

- (1) 就業時間を設定する
- (2) ワークAの実績時間を記録する
- (3) ワークAの能率を計算する
- (4) ワークAのぼーっと時間を記録する
- (5) ワークAの稼働率を計算する
- (6) ワークAの真の稼働率を計算する

6. 能率を100%にする技術を学ぶ【実習】

- (1) 作業細分化の技術を学ぶ
- (2) より実務的な標準時間
- (3) 上手な人をパクる方法
- (4) スキルマップの使い方

7. 能率を130%にする技術を学ぶ

- (1) 過剰品質のムダをなくす
- (2) 動作のムダをなくす
- (3) 移動のムダをなくす
- (4) ちよこ待ちのムダをなくす



8. 能率を200%にする技術を学ぶ

- (1) E「なくすことができないか」を考える
- (2) C「組み合わせられないか」を考える
- (3) R「入れ替えができないか」を考える
- (4) S「もっと単純にできないか」を考える

9. 稼働率を99%にする技術を学ぶ【実習】

- (1) 見かけの稼働率にだまされない
- (2) 真の稼働率について知る
- (3) 真の稼働率が見える化する
- (4) 稼働率を上げる3つのワザ

◆実施日時

2010年12月9日(木) 10:00~16:30

◆場所

機械振興会館

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8(東京タワー近く)

◆定員 42名限定(先着順で締め切らせていただきます)

◆参加費用

26,000円/1人(税込み)

◆セミナーのお申し込み方法

下記の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX(03-6411-1265)にてお送り下さい。後日、受講票及び請求書を郵送させていただきますので参加料金を指定口座にお振込み下さい。

◆主催・お問い合わせ先

株式会社 西田経営技術士事務所

〒100-6208 東京都千代田区丸の内1-11-1

パシフィックセンチュリープレイス8F

TEL03-6411-1264 FAX03-6411-1265

<http://www.ni-g-j.co.jp> e-mail:daihyou@ni-g-j.co.jp

お問い合わせ担当者 総務:西田美智代

セミナーNo.101209 5人分の仕事を3人で回す「ムダ時間」削減術 申込書

FAX 03-6411-1265

ふりがな			
会社名			
所在地			
TEL番号	FAX番号		
連絡担当者	部署	氏名(ふりがな)	
参加者	役職名	ふりがな 氏名	役職名 氏名
	役職名	ふりがな 氏名	役職名 氏名

※入手した個人情報につきましては、本セミナーの連絡および弊社活動のご案内のみに使用させていただきます。

※当社代表取締役 西田順生は、我が国の「技術士法」によって、「守秘義務」「信用失墜行為の禁止」が課せられていますので、ご安心ください。